

第 96 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 25 年 10 月 26 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 小島 隆雄 島田 貴司
欠席委員の氏名 中島 和晃 大橋 民男 木村 敏彦 堂園 孝美
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸

4. 議題

1. 番組編成に関して
2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。

委 員 長 児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。

会社側委員：「Pure Music Now Music」のパーソナリティは 10 月から児玉昭義さんの担当にかわりましたが番組名そのたは基本的に引き継がれております。

委 員：クラシックファンに好評の番組ですから大幅な変更無しに継続して頂きたいと思いますがパーソナリティの魅力はそれぞれですから児玉さんの個性を多に発揮していただきたい。

会社側委員：ご期待ください。その他「じいじの JAZZ」、「BAR-M」、「mu Teck mode:p」などの新番組も始まりますので審議のほどよろしくお願ひします。

委 員：若い人たちが多く参加される番組ですから年配のリスナーにも活力になれば面白いと思ひ期待しております。

会社側委員：番組審議会としても若者の活躍の場を見守っていただきご指導ご支援ください。

委 員：次世代を担うのにふさわしい番組のために審議会としても原点に戻って活動したいと考えております。

会社側委員：難聴対策としてインターネットを活用しておりますが本来の電波による放送の強化策としては中継局の設置も模索しております。進行状況は遅々としておりますが関係機関とも協議を進めて実現を目指したいと考えております。

委 員：局の最小限のインフラは確保されたとはいえ足腰はまだまだ弱いと思う。信頼にたる放送局として整備も怠らないように願ひたい。

会社側委員：関係各社との協議を通して解決策を具体化したいと思ひます。

委 員 長：よろしくお願ひします。本日は有り難うございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し
以 上